

第4章 計画の推進

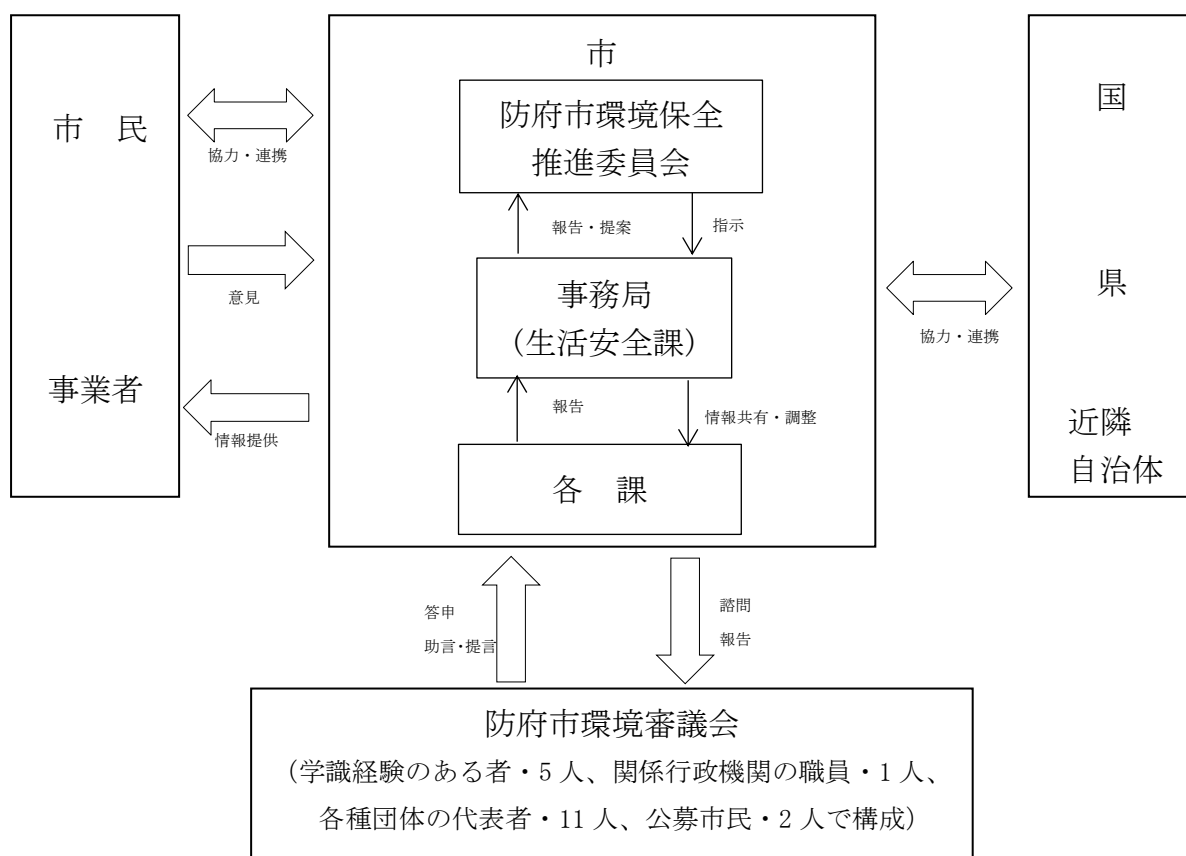
4-1 計画の進行管理及び公表

(1) 推進体制

本計画に示された環境施策については、市民、事業者、行政が協力・連携しながら、取り組んでいく必要があります。このため、以下のような推進体制を整備し、各主体が互いに連携しながら本計画を推進します。

また、本計画の策定及び見直しに当たっては、議会へ説明を行います。

〔防府市環境基本計画 推進体制図〕



(2) 点検・評価

本計画では、施策が着実に推進されるよう、行政評価を活用して計画の進行管理を行います。

基本目標に掲げた総合的な目標数値並びに各施策に定める進捗管理指標について、調査資料等で数値を把握することにより計画の進捗状況を評価します。

(3) 公表

評価の結果は毎年度発行する「防府市の環境」において公表するとともに、防府市環境審議会への報告を行い、必要な助言・提言を求めた上で、評価の結果を事業の実施に反映させ、市民の立場に立った行政運営と透明性の確保を図ります。

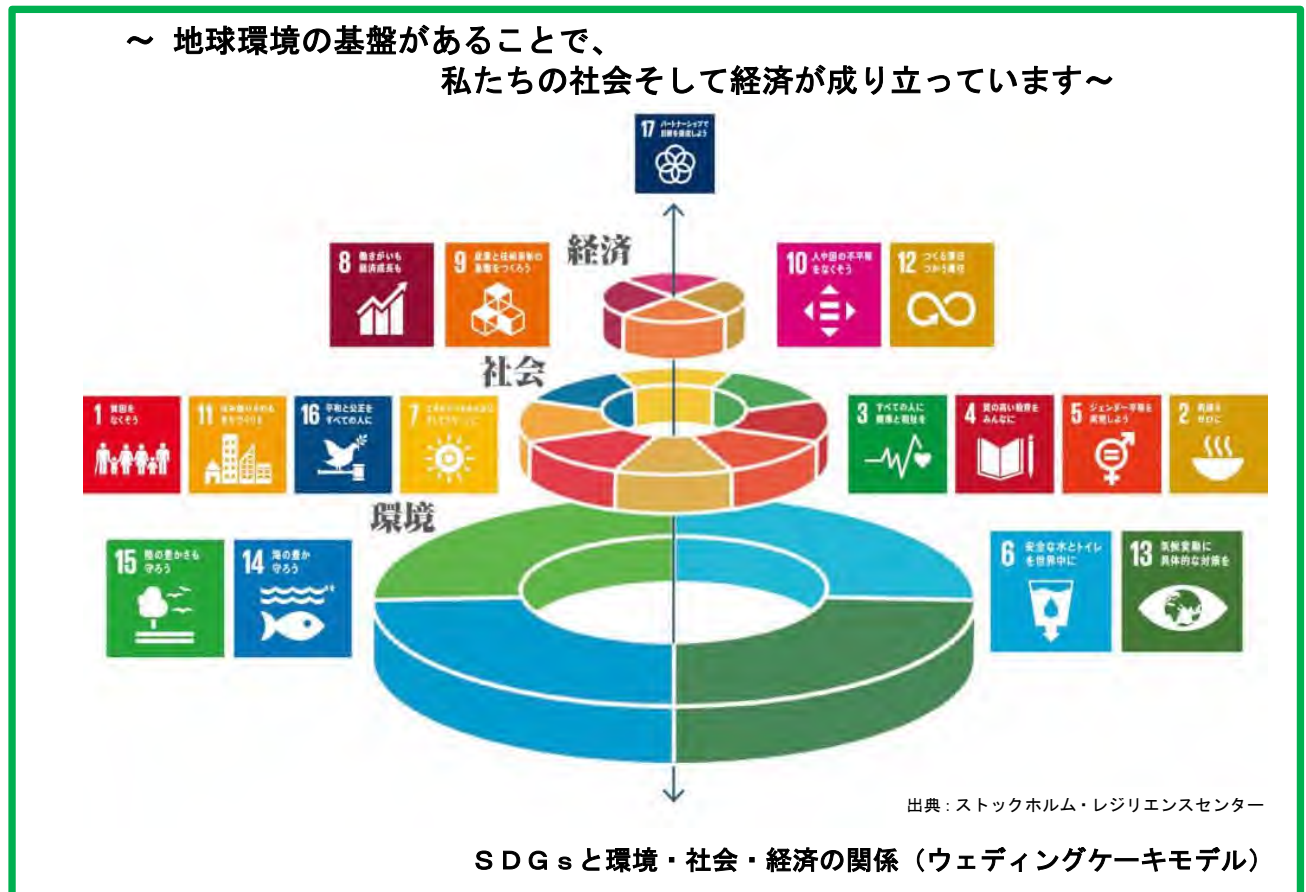
4-2 財政上の措置

本計画の基本目標の達成に向け、各取組を継続的に進めるため、必要な財政上の措置を講じるよう努めます。

また、国・県等の支援制度を積極的に活用します。

4-3 国や県、近隣自治体との連携

海域・河川の水質汚染対策や地球環境問題などの本計画の推進だけでは根本的な解決が難しい環境問題に対する取組や、ゴミゼロエミッション、再生可能エネルギー利用など広域的な枠組みにおいて推進する取組、環境教育・環境学習分野における既存資産を活用した取組などに関しては、国や県、近隣自治体と協力・連携し、効果的に推進されるよう努めます。



家庭や事業所でできる取り組みの例と年間CO₂削減量

①緑のカーテンを設置する

CO₂削減量 **130kg**

※夏季3ヵ月間、2m×2mの緑のカーテンを南西及び南東のガラス窓面に設置した場合



令和3年度緑のカーテンコンテスト

優秀作品の一部

②省エネ性能の高い冷蔵庫への買い替え

年間で電気 **320kWh** の省エネ、CO₂削減量 **187kg**

※定格内容積 401～450L の 10 年前の冷蔵庫を買い替えた場合



③電気ポットを長時間使用しないときはプラグを抜く

年間で電気 **107.45kWh** の省エネ、CO₂削減量 **52.4kg**

※電気ポットに満タンの水 2.2L を入れ沸騰させ、1.2L を使用後、6 時間保温状態にした場合と、プラグを抜いて保温しないで再沸騰させた場合の比較



④炎がなべ底からはみ出さないように調節

年間でガス **2.38 m³** の省エネ、CO₂削減量 **5.3kg**

※水 1L (20℃程度) を沸騰させるとき、強火から中火にした場合 (1日3回)



⑤エアコンを賢く使う

夏の冷房時の室温は 28℃を目安に

年間で電気 **30.24kWh** の省エネ、CO₂削減量 **14.8kg**

冬の暖房時の室温は 20℃を目安に

年間で電気 **53.08kWh** の省エネ、CO₂削減量 **25.9kg**

※夏：外気温度 31℃の時、エアコン (2.2kW) の冷房設定温度を 27℃から 28℃にした場合

※冬：外気温度 6℃の時、エアコン (2.2kW) の冷房設定温度を 21℃から 20℃にした場合
いずれも使用時間は 9 時間/日



⑥不要な照明をこまめに消す

年間で電気 **4.38kWh** の省エネ、CO₂削減量 **2.1kg**

※12Wの蛍光灯1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合



⑦電球形LEDランプに取り替える

年間で電気 **90.00kWh** の省エネ、CO₂削減量 **43.9kg**

※54Wの白熱電球から9Wの電球形LEDランプに交換した場合



⑧シャワーの時間を短くする

年間でガス **12.78 m³** の省エネ、年間で水道 **4.38 m³** の省エネ
CO₂削減量 **28.7kg**

※45℃の湯を流す時間を1分間短縮した場合



⑨暖房便座のフタを閉める

年間で電気 **34.90kWh** の省エネ、CO₂削減量 **17.0kg**

※フタを閉めた場合と、開ければなしの場合の比較（貯湯式）



⑩テレビを見ないときは消す

年間で電気 **16.79kWh** の省エネ、CO₂削減量 **8.2kg**

※1日1時間テレビ（32V型）を見る時間を減らした場合



⑪部屋を片付けてから掃除機をかける

年間で電気 **5.45kWh** の省エネ、CO₂削減量 **2.7kg**

※利用する時間を、1日1分短縮した場合



⑫ふんわりアクセルを踏む

年間でガソリン **83.57L** の省エネ、CO₂削減量 **194.0kg**

※5秒間で20km/h程度に加速した場合



⑬早めのアクセルオフ

年間でガソリン **18.09L** の省エネ、CO₂削減量 **42.0kg**

⑭自動車から自転車に乗り換える

年間でガソリン **240L** の省エネ、CO₂削減量 **552kg**

※週5日、片道5kmの往復を燃費10km/Lの自動車から乗り換えた場合



出典：①横浜市環境科学研究所「緑のカーテンによる省エネ及びCO₂削減効果の試算」
②環境省「しんきゅうさん」かんたん比較
③～⑬ 資源エネルギー庁「省エネポータルサイト」
⑭国土交通省「エコ通勤ポータルサイト」

命を守る適応策

■ 気象災害から守るための適応策

近年、過去の観測を上回るような短時間強雨が増加しています。大雨による河川の氾濫や下水道の氾濫（内水氾濫）、浸水被害を防ぐためのインフラ整備や、警戒避難体制の強化を行うことも「適応策」です。一人ひとりが、天気予報や防災アプリを確認したり、ハザードマップや避難経路を確認し、気象災害から身を守ることも「適応策」です。



■ 健康を守るための適応策

日本の年平均気温は、100年間あたり1.26°Cの割合で上昇し、特に1990年代以降、高温となる年が頻出しています。気温の上昇に伴い、熱中症で搬送される人の数が増えたり、伝染病を媒介する蚊の北上などの影響が出ています。水分補給をこまめにしたり、エアコンの設定温度を適度に保つことによって熱中症を予防したり、虫刺されに気を付けるなど、一人ひとりが自身の健康を守るために行動することも「適応策」です。



出典：気候変動適応情報プラットフォーム

防府市環境基本計画
(第3次)

令和4年3月

編集発行：防府市生活環境部生活安全課環境政策室
(〒747-8501 防府市寿町7番1号)